

自治体の課題、現状

本市において、16の中学校・義務教育学校があり、6,182名の生徒が通っている。部活動については、運動部・文化部合わせて令和6年度7月時点で5,000名を超える生徒が加入しており、設置部活動数については、常設部と特設部を合わせて242部活となっている。単独校で部活動が成り立つ学校と、既に複数校で活動しないと成り立たない学校が生じている。要因としては、少子化によるものに加え、競技や種目により部活動の加入数が異なることが挙げられる。それらを踏まえ、今後、地域格差が生まれないように学校と地域が連携した環境整備が必要である。

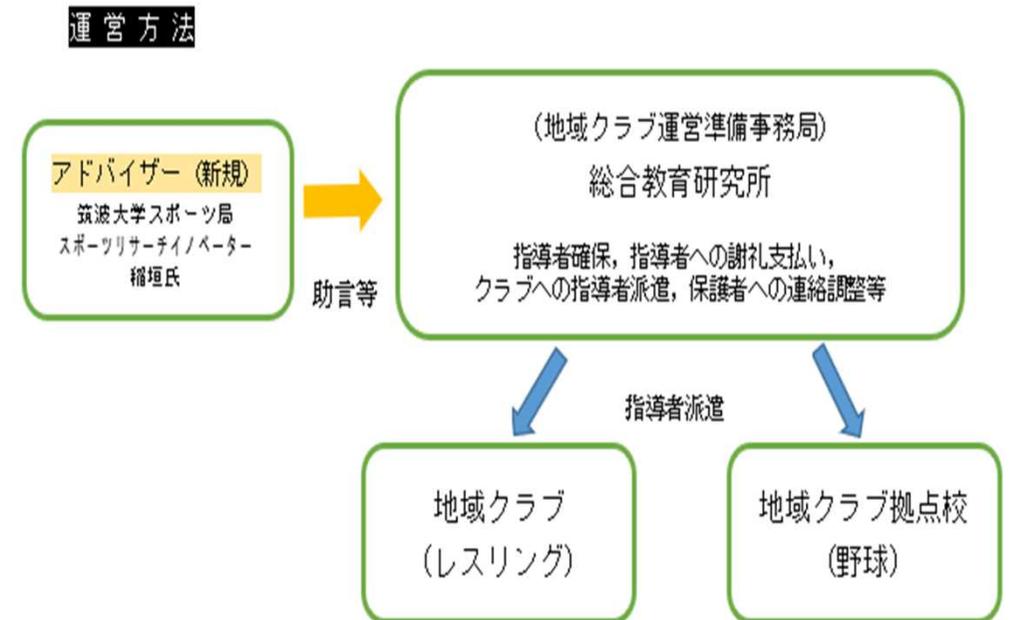
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	16校	全生徒数	6,185人
域内の部活動数	242部	実施した地域クラブ数	2クラブ
全体の指導者数	11人	全体の運営スタッフ数	3人
主な運営団体	水戸市教育委員会		
主な種目	軟式野球, レスリング		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年: 9人/クラブ 2年: 14人/クラブ 1年: 22人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	飯富中学校 第四中学校

地域移行関連の取組、成果

・取り組みとしては、当面の間継続されるであろう平日の学校部活動と休日の地域クラブの活動との円滑な接続、専門的な指導者を配置することによる指導の質の担保、部活動顧問に代わる地域指導者による休日の地域クラブの運営など、令和7年度末の改革推進期間終了後の部活動の地域移行を見据えた実証事業を実施した。  
○統括コーディネーターの配置により、各種競技団体との連絡調整を図ることで、地域クラブの運営に係る指導者の確保ができ、部活動顧問に代わる運営体制の構築につなげることができた。

運営体制図



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 茨城県水戸市

自治体名 : 茨城県水戸市  
担当課名 : 教育委員会総合教育研究所教育研究課  
電話番号 : 029-244-1331

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	217.4 km <sup>2</sup>
人口	26.8万人
公立中学校数	16校
公立中学校生徒数	6,185人
部活動数	242部活 (特設部含む)
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	有
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	無

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市には16の中学校・義務教育学校があり、6,185名の生徒が通っている。

部活動については、運動部・文化部合わせて令和6年度7月時点で5,000名を超える生徒が加入しており、設置部活動数については、常設部と特設部を合わせて242部活となっている。生徒の部活動加入率は依然として高い状況にあり、運動部加入率を見ると、国・県と比較しても高い状況にある。

他市との比較により、部活動の設置数は多い現状にあるが、種目によっては、競技人口の減少により、複数校による合同チームを編成し、

大会に参加している現状もある。本市では令和3年度より部活動推進事業、スポーツ教室の開催など地域移行に係る取組を行ってきた。

しかしながら、地域移行のための制度の策定、学校、保護者、地域、市役所関係課における部活動地域移行に係る調整が十分ではないこと、他市町村と比較し学校数が多いこと、市街地と郊外の学校間で生徒数や設置部活動数などの差が見られることから、それぞれの学校や地域の実情に応じた地域移行に係る計画の策定が課題となっている。

	部活動数
運動部	207
文化部	35
合計	242

【令和6年度部活動加入生徒数調査】

	運動部加入率
国	54.8%
茨城県	64.4%
水戸市	70.7%

【R6日本中学校体育連盟加盟校・加盟生徒数調査】

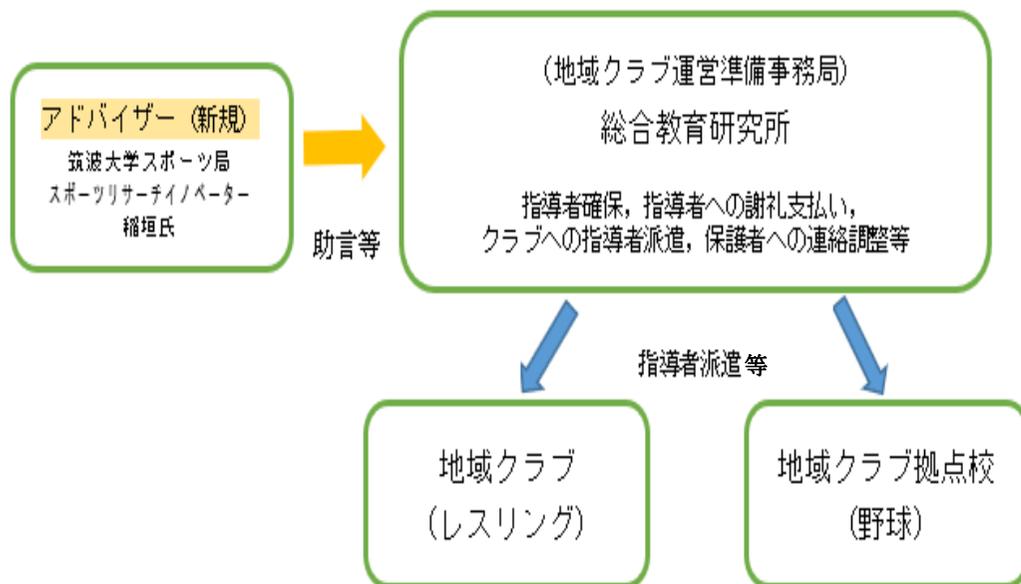
【R6茨城県中学校体育連盟調査】

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）

##### 運営方法



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・教育研究課・・・部活動改革の主管，学校との調整・連絡，学校に関する事項について，休日の地域クラブ実証事業に関すること

### 年間の事業スケジュール

令和6年4月	休日の地域クラブ実証事業説明会 (対象校4校・保護者会)
令和6年6月	休日の地域クラブ実証事業説明会 (対象校・部活動加入生徒・保護者) 学校ヒアリング
令和6年7月	休日の地域クラブ実証事業 第1回運営委員会 (学校，指導者，市教委) 指導者研修会 学校ヒアリング
令和6年8月	休日の地域クラブ実証事業開始 学校ヒアリング
令和6年9月	水戸市部活動アンケートの実施 市関係課による検討会議
令和6年10月	市学校長会への説明
令和6年11月	各種団体への協力依頼
令和6年12月	市関係課による検討会議 第2回運営委員会 (学校，指導者，市教委)
令和7年2月	水戸市立学校部活動地域移行 推進協議会
令和7年3月	市関係課による検討会議 第3回運営委員会 (学校，指導者，市教委)

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	4校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（4部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	11人	全体の運営スタッフ数	3人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
水戸市地域クラブ	水戸市教育委員会	軟式野球	月4回／週1回	8:00～12:00	1年生15名 2年生6名	R6.8月～R7.2月	飯富中学校	6人	3人 （内、兼務×3人）	月会費／年会費なし	中体連：部活動 その他：地域クラブ
水戸市地域クラブ	水戸市教育委員会	レスリング	月4回／週1回	8:00～12:00	1年生7名 2年生8名 3年生9名	R6.8月～R7.2月	第四中学校	5人	3人 （内、兼務×3人）	月会費／年会費なし	中体連：部活動 その他：地域クラブ

#### ③その他

- 各種競技団体推薦指導者の配置による専門的な指導の担保
- 平日の部活動と休日の地域クラブの活動の接続目的とした部活動指導員の兼務
- 休日の地域クラブの指導を希望する教職員の兼職兼業

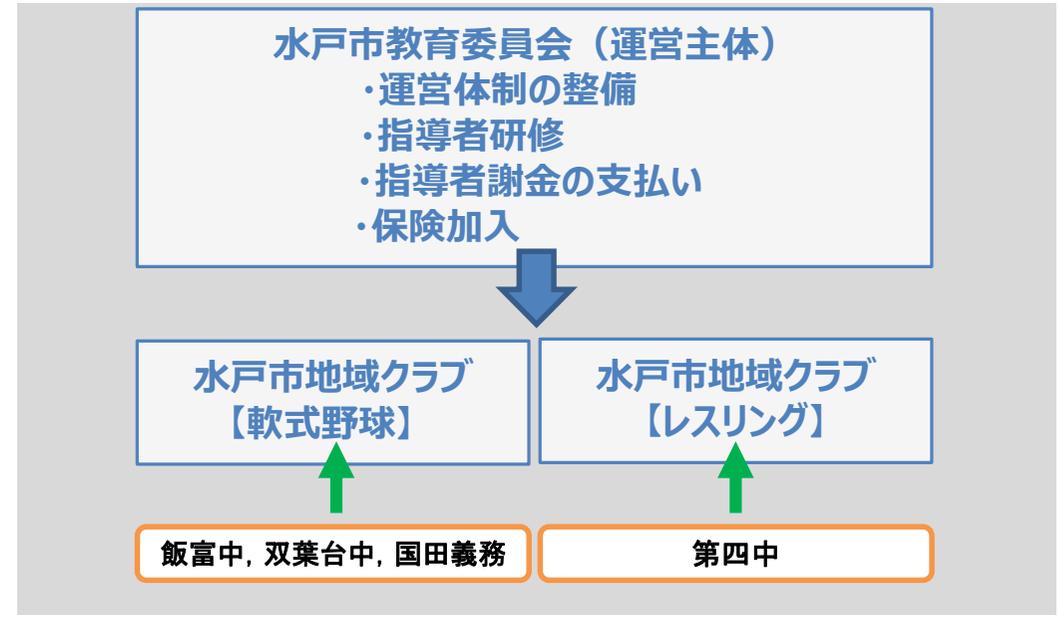
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●水戸市地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球, レスリング
運営団体名	水戸市教育委員会
期間と日数	軟式野球・レスリング R6.8月3日～R7.2月23日 月4回程度
指導者の主な属性	競技団体推薦指導者, 部活動指導員, 兼職兼業の教職員, 大学生, 地域指導者
活動場所	飯富中学校, 第四中学校
主な移動手段	徒歩, 自転車, 保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額) ※R6は費用負担なし	軟式野球: 0円 レスリング: 0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり: 800円/年 指導者1人あたり: 1,850円/年

#### ●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

記入例:

- 統括責任者(統括コーディネーター)  
役割: 休日の地域クラブ実証事業の運営管理者として学校・保護者と調整を行う。
- 指導者チーフ 2名  
役割: 地域クラブにおける責任者として指導及び事故対応等を行う。
- 指導者補助 9名  
役割: 活動において指導者チーフの補助を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○教育委員会内に統括コーディネーターを1名配置し、部活動地域移行に係る方針決定のための庁内調整、関係団体との調整を行う。

○休日の地域クラブ実証事業に係る運営体制の整備に伴う指導者の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

○連絡方法としてのICTの活用（導入費用0円）

##### 取組の成果

○統括コーディネーターが中心となり、学校、保護者等との調整等を図り、実証事業を円滑に開始することができた。

○統括コーディネーターの配置により、市役所関係課による検討会において、部活動の地域移行に伴う共通理解を図ることができ、学校施設の活用や教職員の兼職兼業に関する整理をすることができた。

○統括コーディネーターの配置により、各種競技団体との連絡調整を図ることで、地域クラブの運営に係る指導者の確保ができ、部活動顧問に代わる運営体制の構築につなげることができた。

○通信アプリの活用により、活動のスケジュール管理、参加者への連絡、出欠席の確認、チーム記録の配信、指導者の活動記録など自立した連絡体制の構築につなげることができた。



【出典：チーム連絡アプリ】

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

【統括コーディネーター】

- ・適宜活動の視察を行い、地域クラブ実証事業の活動に係る指導者への指導及び助言を行った。
- ・水戸市立学校部活動地域移行推進協議会の調整を行った。

##### 今後の課題と対応方針

- 地域クラブの活動を持続可能なものにするための財源の確保
- 対象種目の拡充に伴う指導者の確保

【対応策】

- ・企業や大学との連携を図るとともに、指導者の協力、公的支援の在り方を検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

- ・休日の地域クラブ指導者の資質向上のための研修会を年3回開催。
- ・各種競技団体に指導者派遣を依頼し、指導者の確保に努める。

##### 人材バンク

設置予定

- ※早期の設置に向けて準備中
- ・設置基準の検討
- ・兼職兼業の検討

##### 登録者属性

- 軟式野球  
市軟式野球連盟推薦指導者（1名）、水戸市部活動指導員（1名）教職員の兼職兼業（1名）、大学生（3名）
- レスリング  
県レスリング協会推薦指導者（1名）部活動指導員（1名）教職員の兼職兼業（1名）、指導ボランティア（2名）

##### 種目

- ・軟式野球
- ・レスリング

##### 資格有無

- ・茨城県部活動指導員認定資格
- ・各種競技団体指導員資格

##### 取組の成果

・専門的な知識や経験を有する地域クラブ指導者を11名確保した。

【軟式野球6名、レスリング5名】

・年3回、指導者研修会を実施し、各回積極的に指導者が参加することで資質の向上に図ることができた。

休日において、部活動顧問の代わりに地域クラブ指導者が活動にあたることで、残業時間が22時間の削減につながった。

【可能な限り根拠に基づいた定量的な成果を記載すること。】

#### 【部活動顧問の勤務実態の変化】

	休日の地域クラブ実証事業前	休日の地域クラブ実証事業後
平均残業時間 ／月 (時間)	68.7	43.6

#### 【部活動顧問の勤怠管理より集計】

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

##### 【第1回地域クラブ運営委員会（指導者研修）】

- ・対象：休日の地域クラブ実証事業指導者（軟式野球・レスリング）
- ・目的：休日の地域クラブの活動に係る共通理解，コンプライアンス研修  
事故対応マニュアルの確認，施設破損時の対応，  
休日の地域クラブの指導方針に係る共通理解，保険対応など
- ・工夫した点：新たな取組のため，上記の各種マニュアル対応に係る共通理  
解の徹底を図った。

##### 【第2回地域クラブ運営委員会（指導者研修）】

- ・目的：地域クラブの運営や指導に係る成果と課題，対応策の検討，  
事務手続きの見直しなど
- ・工夫した点：実証事業の実績を基にした情報交換と諸課題への対応策の  
検討を行う。

##### 指導者研修の参加実績

- ・開催日： 7月18日，12月11日，3月開催予定【軟式野球】  
7月21日，12月18日，3月開催予定【レスリング】  
各種目3回
- ・参加人数：軟式野球：7月18日【6名】，12月11日【3名】  
レスリング：7月21日【5名】，12月18日【5名】
- ・各競技ごとに研修会を行うことで，地域クラブ運営に係る課題の整理を行った。

##### 受講者の声



##### 【第1回地域クラブ運営委員会】

##### ○参加した地域クラブ指導者の声

「事故や熱中症の対応など分からないことがあったので，良い研修になった」  
「地域クラブの運営に係る学校の考えや要望を確認する良い機会になった」

##### 今後の課題と対応方針

○本市における地域クラブ実証事業は，平日の部活動との円滑な接続を目的としたため，学校関係者同席のもと共通理解の場として研修会を設けた。学校・指導者・教育委員会のそれぞれの視点で地域クラブの運営に係る情報交換を行うことで，効率的・効果的な連携方法について検討を行った。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

○学校と連携していくため、中学校長会や実証事業対象校において本市の取り組み及び今後の見通し等の説明を実施する。休日の部活動地域移行を推進するため、有識者を招聘した協議会を開催する。

○指導者の派遣依頼等を目的とした各種競技団体との連携調整を図る。

#### 取組の成果

○中学校長会や対象校の部活動説明会、対象校のPTA保護者会等を訪問し、学校の協力を求めることで休日の地域クラブ実証事業の周知を図る機会を得た。

○地域の各種スポーツ団体の協力を得て、休日の地域クラブ実証事業に係る専門的な指導者を配置することができた。

○本市における休日部活動の地域移行を推進するため、様々な有識者を招聘し、水戸市立学校部活動地域移行推進協議会を開催し、諸課題の対応策等の協議や情報交換を行った。今後も部活動地域移行推進のため継続的に開催する。【出席者：学校関係者、中体連関係者、地域代表、保護者代表、企業代表、大学関係者】



【水戸市立学校部活動地域移行推進協議会】

#### バス等の運行実績

- ・日数 0日
  - ・利用者数 0人
  - ・運行経路
- ※地域移行に係るバスの利用等については、今後検討をする。

#### バス等の運航経費・収入

- ・人件費
  - 今後の検討事項
  - ・利用料
- ※今後の必要に応じて検討をする。

#### 今後の課題と対応方針

○地域移行の推進のため、競技団体や大学、民間事業者等の多様な団体の参画が必要であるため、更なる連携強化を図る。

○運営の効率化を図るため、活動場所までの移動手段についても協議会等で検討を重ねる。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

○活動場所までの移動の負担を軽減させるため、隣接校を組み合わせ、休日の地域クラブ実証事業を実施する。

##### 各自治体の役割

○水戸市教育委員会  
・地域クラブ運営、予算管理  
・関係機関との連絡、調整  
・理解促進に向けての説明会等の実施  
・謝金等の事務処理

##### 移動手段

・徒歩、自転車、保護者送迎により活動場所まで移動をした。

##### 事務局運営の方法

○水戸市教育委員会内に地域クラブ実証事業に係る運営事務局を設置。  
○統括コーディネーターが休日の地域クラブ実証事業に関連する団体、学校等と連絡、調整を実施。

##### 取組の成果

○休日の地域クラブ実証事業に参加した生徒は、軟式野球20名、レスリング24名の生徒が参加した。令和7年度については、休日の地域クラブ実証事業を継続する。レスリングについては対象校を拡充するとともに、対象を剣道、ソフトボールの4種目に拡大し、段階的に部活動を地域に移行していく。



【地域クラブの活動の様子】

##### 今後の課題と対応方針

○移行に取り組む対象種目、対象校を段階的に拡大し、令和7年度内に本市の部活動地域移行に係る方針決定を目指す。  
○平日の部活動との連携が課題。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 オ：内容の充実①

#### 取組事項

○部活動に係る学校ヒアリングを実施し、各学校の部活動の運営に係る実態調査を行い、諸課題等の把握に努める。

○水戸市部活動アンケートを実施し、児童生徒・教職員等の部活動地域移行に係るニーズの把握に努める。

#### 取組の詳細

ヒアリング対象	市内全中学校	対象学校数	16校
ヒアリング内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動運営の現状と課題</li> <li>・他校との合同部活動の有無</li> <li>・外部指導者、部活動指導員等の活用の有無</li> <li>・生徒、保護者、教職員の部活動への要望等</li> </ul>		
部活動の現状 (ヒアリング調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女分けを無くし、部活動数の整理を進めている。</li> <li>・集団競技より個人競技（陸上部）に入部する生徒が多い。</li> <li>・R6総体をもって廃部にする部活動あり</li> <li>・合同部活動を編成し、大会参加する学校が複数あり。</li> <li>・近隣の中学校と連携を図り、部活動の整理も可能ではないかとの意見あり。</li> <li>・部活動数検討委員会の設置【運営委員、体育主任、部活動主任】 等</li> </ul>		
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副顧問が複数部活動顧問を兼任する現状にある学校が複数あり。</li> <li>・競技未経験者も顧問になっている部活動が多数あり。</li> </ul>		
学校の意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動指導員を拡充し、顧問教員の負担軽減を図ってほしい。</li> <li>・生徒や顧問の教員が活動しやすいようにしてほしい</li> </ul>		

令和6年度部活動ヒアリング結果 概要

種目(部)	学校・クラブ	1年生	2年生	計	部の状況(課題)	訪問日	顧問・生徒の意向	移行の可能性
ソフトボール	〇〇中	3	5	8	平日6名で活動していた。R6は〇〇中と合同チームを編成し、新人戦に出場する。 顧問はソフトボール専門	8月11日	顧問より、部員数の減少に伴い、部活動運営に苦慮しており、活動の維持のため、近隣の学校で合同チームが組むと助かることとの意見あり。	評価：高  〇〇中も拠点、顧問の協力、生徒のニーズ大。
	〇〇中	5			R6総体で廃部。2名の女子部員は野球部に転部。	8月6日	女子生徒より、近隣の学校の参加者が多い。野球やソフトボールができる場所があると良いという意見あり。スポーツ振興協会主催の野球教室にも参加したとのこと。	
	〇〇中				野球部で2名の女子生徒が活動。	8月6日	女子生徒より、近隣の学校の参加者が多い。野球やソフトボールができる場所があると良いという意見あり。スポーツ振興協会主催の野球教室にも参加したとのこと。	
	〇〇中				女子生徒(1年)が野球部に2名所属し活動をしている。1名は野球クラブに所属。 顧問は野球専門。	8月11日	生徒より、市内の参加者が集うようなスポーツ教室等の開催があれば参加してみたいとの意見あり。	

### 令和6年度部活動ヒアリング結果概要

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 オ：内容の充実②

#### 取組の成果

○水戸市部活動に関するアンケートの実施

本市の小・中学生 5,893 人を対象としたアンケートの結果、小学生の回答率は82.0%、中学生の回答率は73.2%となった。部活動の地域移行に向けた調査を行うことで、現在の学校部活動や地域移行に対するニーズを把握することができた。

調査対象及び調査方法・回答者数（令和6年9月25日時点）

対象	調査方法	対象者数	回答者数（回答率）
小学校6年生 義務教育学校6年生	Google フォーム で回答	1,953名	1,601名 (82.0%)
中学校1～2年生 義務教育学校7～8年生		3,940名	2,883名 (73.2%)
教職員		1,351名	713名 (52.8%)
保護者		—	3,552名

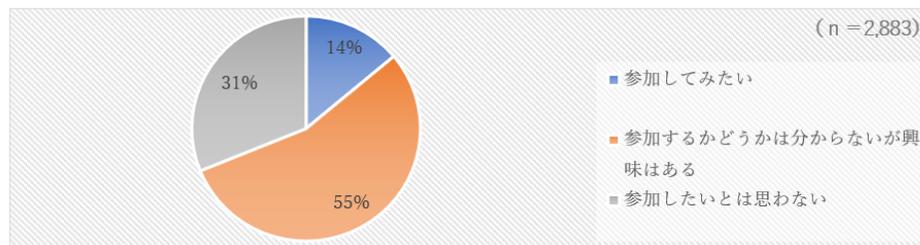
**出典：水戸市部活動に関するアンケート結果（一部抜粋）**

#### 今後の課題と対応方針

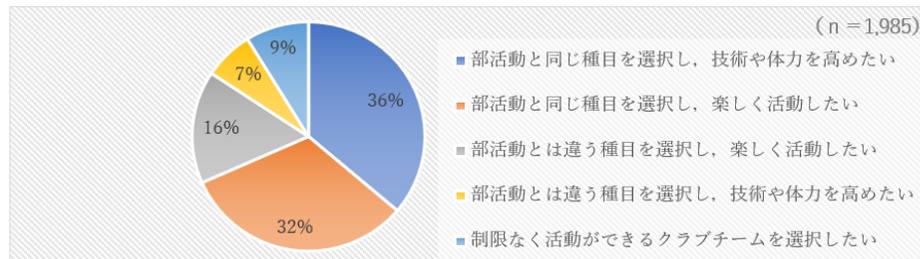
○水戸市部活動に関するアンケートの中学生の回答結果によると、休日の部活動に代わり、地域ごとの新しい活動の場に対する参加ニーズについて「参加してみたい」「参加するかどうかは分からないが興味がある」と答えた中学生が69%になった。

また、部活動に代わる新しい活動に対するニーズについては、「部活動と同じ種目を選択し、技術や体力を高めたい」が36%、「部活動と同じ種目を

(7) もし、休日の部活動の代わりに、地域ごとに新しい活動の場ができるとしたら、参加したいと思いませんか？  
 ・「参加するか分からないが興味はある」が55%で最も高くなっている。



(8) 休日の部活動の代わりに、地域ごとに新しく活動の場ができるとしたら、どのような活動をしたいですか。  
 ・「部活動と同じ種目を選択し、技術を高めたい」が36%で最も高くなっている。



選択し、楽しく活動したい」が32%となった。競技志向の強い生徒と楽しみを重視する生徒が混在していることから、新たな活動の場においては、技術や体力を向上させる専門的な活動の機会（地域クラブ）や、生徒の多様なニーズに対応し、主体的な参加を促す活動の機会（スポーツ・文化教室）の確保など、子どもたちのニーズに応える新たな体制づくりを検討する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

##### 取組事項

※実証事業のため、参加者負担を求めている。

令和7年度以降、参加者負担を検討する。

##### 地域クラブに係る経費

##### ■イニシャルコストの分析

※ 該当なし

##### ■ランニングコストの分析

- ・保険料（53千円）
- ・指導者謝金（753千円）
- ・コーディネーター費用（1,741千円）
- ・アドバイザー費用（700千円）

##### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

令和6年度の実証事業については、受益者負担の設定はない。  
令和7年度以降、地域移行の方針決定とともに、検討を行う。

##### 収支バランス

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

##### 取組の成果

※ 該当なし

##### 今後の課題と対応方針

○地域クラブの活動を持続可能にするための財源の確保は必須であるため、部活動地域移行の方針とともに受益者負担の在り方について、検討を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

○休日の地域クラブ実証事業について、生徒の安全を確保するため、従来の部活動と同様に学校施設を活用し実施できるよう調整を行った。

○活動場所にキーボックスを設置し、休日の地域クラブの指導者が施設の施錠管理を行えるよう学校と調整を図った。

##### 取組の成果

○学校の協力を得ることで、実証事業の活動は学校施設を活用して実施することができた。次年度以降も学校と連携を図ることで、学校施設の有効活用を検討していく。

○活動場所となる学校施設へキーボックスを設置することで、施錠について学校関係者に頼ることなく活動を行うことができた。

(※学校施設担当課にて対応。)



学校施設へのキーボックスの設置

##### 今後の課題と対応方針

○今後については、実証事業の対象種目及び対象校の拡充を検討していることから、引き続き学校と教育委員会とが連携を図り、学校施設の有効な活用方法の検討をする。

○今後、部活動の地域移行に伴い、地域クラブや地域団体が学校施設を利用しやすい環境を整える必要があるため、学校施設の利用に係る調整を学校、市役所関係課とともに検討をする。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：**その他の取組**



### 取組内容

#### ●取組項目名 ク：その他の取組

##### 取組事項

○令和7年度以降の改革推進期間後を見据えた取り組みを推進する観点から、部活動指導員の配置を拡充し、指導者の確保につなげるとともに平日と休日の接続について検証を行った。

##### 取組の成果

○実証事業の指導者については、軟式野球、レスリングにおいて1名ずつ部活動指導員を地域クラブ指導者として兼務を依頼した。平日の学校部活動と休日の実証事業の活動を関連付けることで、平日と休日の円滑な接続につながった。

年度	配置数	内訳	活動時間数
令和2年度	12人	運動部12人	1,492時間
令和3年度	27人	運動部25人 文化部2名	3,240時間
令和4年度	28人	運動部26人 文化部2名	4,905時間
令和5年度	32人	運動部30人 文化部2名	5,953時間
令和6年度	35人	運動部30人 文化部5名	5,761時間 (※R7.1月末現在)

#### 部活動指導員実績の推移

出典：部活動指導員活動報告より抜粋

##### 指導者の属性や配置

- ・指導者の属性  
部活動指導員
- ・配置について  
平日と休日の接続について今後も課題となるため、部活動指導員の配置を拡充し、部活動を熟知した指導者の確保に努めた。

##### 一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

○連絡アプリの指導者間連絡機能を活用する事で、活動内容等の共有を行った。

##### 今後の課題と対応方針

○今後の休日の地域クラブ実証事業の対象の拡大に伴い、引き続き指導者の確保に努める。

⇒各種競技団体、大学や民間団体等に指導者の協力依頼を行う。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ●取組項目名 例) イ：指導者の質の保障・量の確保 / ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項 (イ)

- ・休日の地域クラブ指導者の資質向上のための研修会を年3回開催。
- ・各種競技団体に指導者派遣を依頼し、指導者の確保に努める。

##### 取組の成果 (イ)

- ・休日の地域クラブ実証事業の実施にあたり、学校、指導者、教育委員会において、各種マニュアルの共通理解、休日の地域クラブの運営上の諸課題に対する共通理解、諸課題に対する対応策の検討を行った。

今後はコンプライアンス研修等の研修を設定し、指導者の質の保証を行う。



休日の地域クラブ実証事業指導者  
(レスリング)

##### 今後の課題と対応方針

○令和7年度において、部活動指導員の活用を含め、大学や民間企業等の人材の活用、プロスポーツチームの協力等の可能性を検討すると

##### 取組事項 (ウ)

- ・水戸市立学校部活動地域移行推進協議会の開催
- ・指導者の派遣依頼等を目的とした各種競技団体との連携調整

##### 取組の成果 (ウ)

- ・休日の地域クラブ実証事業の実施にあたり、各種競技団体推薦指導者を2名配置した。次年度以降は、対象校数、対象種目を想定しているため、競技団体をはじめ、大学・民間団体と連携を強化し、指導者の確保を進める。



休日の地域クラブ実証事業指導者  
(軟式野球)

もに、引き続き水戸市立学校部活動地域移行推進協議会で諸課題への対応策の検討を重ねる。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

○令和6年休日の地域クラブ度実証事業において、対象の2種目について、4校4部活動の休日の活動を休日の地域クラブとして運営した。また、休日の地域クラブの運営にあたり、一部であったが教職員の兼職兼業の協力を得ながら、地域指導者が部活動顧問に代わり、子どもたちの活動を支援した。

複数校での実証事業の実施、学校職員以外の指導者が生徒の指導にあたるということもあり、運営や事故対応等についてトラブルを想定していたが、特に問題もなく、休日の地域クラブ実証事業を実施することができた。

一方、今年度の休日の地域クラブ実証事業において対応するケースは無かったが、学校及び指導者より生徒間のトラブルへの対処、熱中症や交通事故等への対処など、マニュアル等の整理が今後の検討事項としてあがった。

#### ●成果の評価

○地域クラブの運営について

- ・部活動顧問以外の指導者が休日の地域クラブにおいて子どもたちの指導に当たることについて、専門的な指導をはじめ、子どもたちの活動を充実することにつながった。
- ・地域の人材を活用し、子どもたちへの専門的な指導の機会を確保することについて、教員の働き方改革という点においても、成果として挙げた。
- ・令和6年度については、実証事業の規模を限定して行ったが、今年度の取組を基に、次年度の計画に反映させる。

#### ●今後に向けて

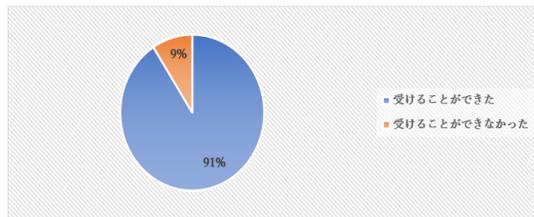
- ・令和6年度休日の地域クラブ実証事業の成果と課題を基に、令和7年度休日の地域クラブ実証事業の拡充を行う。
- ・地域クラブの運営に係る諸課題への対応のためのマニュアルの検討を進める。
- ・本市における部活動地域移行に伴う方針決定と地域移行推進計画の策定を目指す。

## 2.実証内容と成果②

### アンケート結果・参加者の声

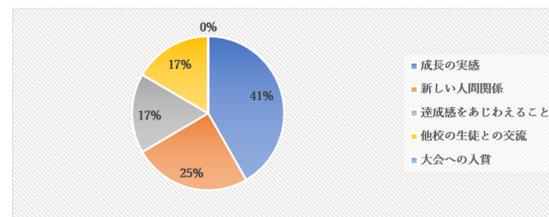
#### ● アンケート結果 **【出典】：令和6年度休日の地域クラブ実証事業生徒アンケート**

○ あなたは休日の地域クラブの活動で専門的な指導を受けられましたか。



#### 生徒アンケート結果

○ 休日の地域クラブの活動に参加してよかったことはありますか。



#### 生徒アンケート結果

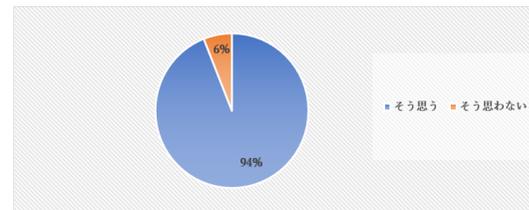
○ お子様は休日の地域クラブの活動に参加してよかったことはどのようなことですか。

- ・友達と楽しくできる活動（30件）
- ・専門的な指導（22件）
- ・成長の実感（12件）
- ・新しい人間関係（12件）
- ・他校の生徒との交流（12件）
- ・達成感をあじわえる（4件）

等

#### 保護者アンケート結果

○ 休日の地域クラブの活動は、お子様にとって充実した活動になっていましたか。



#### 保護者アンケート結果

#### ● 参加者の声

##### 中学1年生（レスリング参加生徒）

・レスリング協会の方や、地域の指導者に指導を受けることができ、休日の練習がとても充実した活動になった。

##### 中学2年生（軟式野球参加生徒）

・沢山の指導者にサポートしてもらうことができ、楽しい活動になった。  
・大学生の見本はとても参考になり、自分も大学生のようにプレーしたいと思った。

##### 指導者

・生徒の活動を複数指導者で支える仕組みはとても良い。  
・子どもたちは生き生きと活動している。  
・部活アプリの活用はとても良い。

##### 保護者

・子どもが休日地域クラブの活動を楽しそうに話をしてくれる。  
・専門的な指導者が指導に当たってくれるので、保護者としても安心して預けられる。

## 2.実証内容と成果③

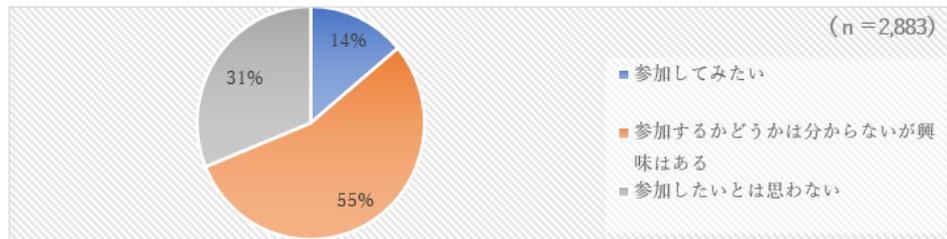
### アンケート結果・広報資料

#### ○水戸市部活動アンケート

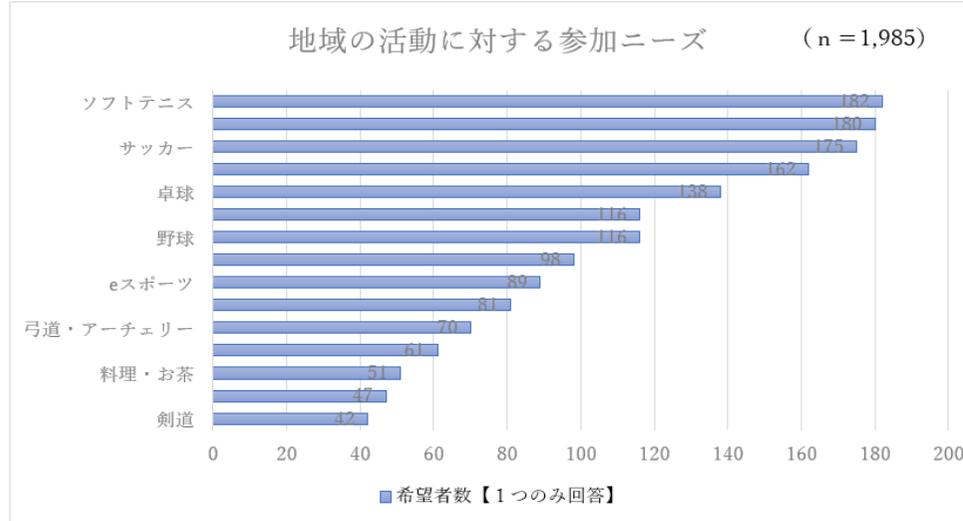
【中学生】

もし、休日の部活動の代わりに、地域ごとに新しい活動の場ができるとしたら、参加したいと思いますか？

・「参加してみたい」「参加するか分らないが興味はある」が69%となっている。



もし、休日の部活動の代わりに、新しくスポーツや文化活動の場所ができた場合、どのような活動に参加してみたいと思いますか。



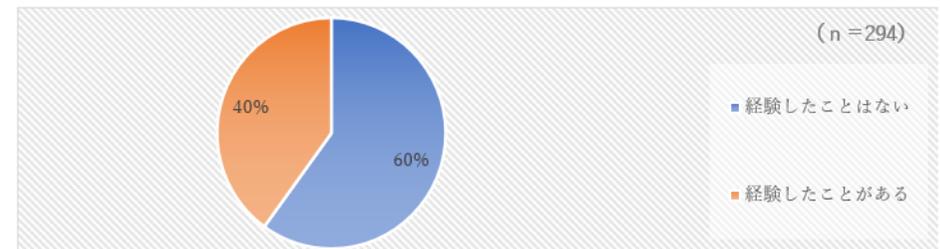
【水戸市部活動アンケート 中学生結果回答より一部抜粋】

#### ○水戸市部活動アンケート

【教職員】

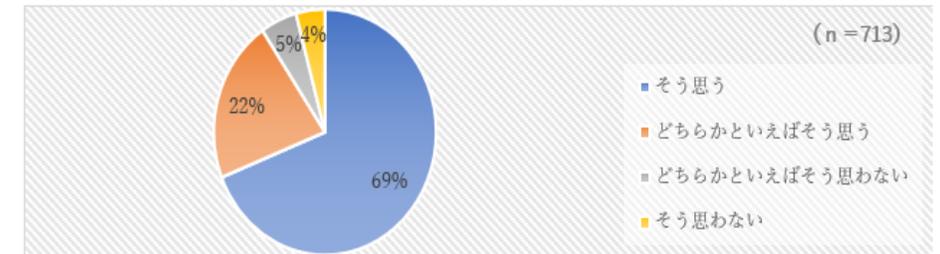
担当している部活動について、過去にご自身での活動の経験はありますか。

・「経験したことはない」が60%となっている。



休日の部活動の顧問は負担だと思いますか。

・「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が91%となっている。



【水戸市部活動アンケート 教職員結果回答より一部抜粋】

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



地域クラブ（軟式野球）での練習試合の様子



地域クラブ（軟式野球）でのバッティング練習の様子

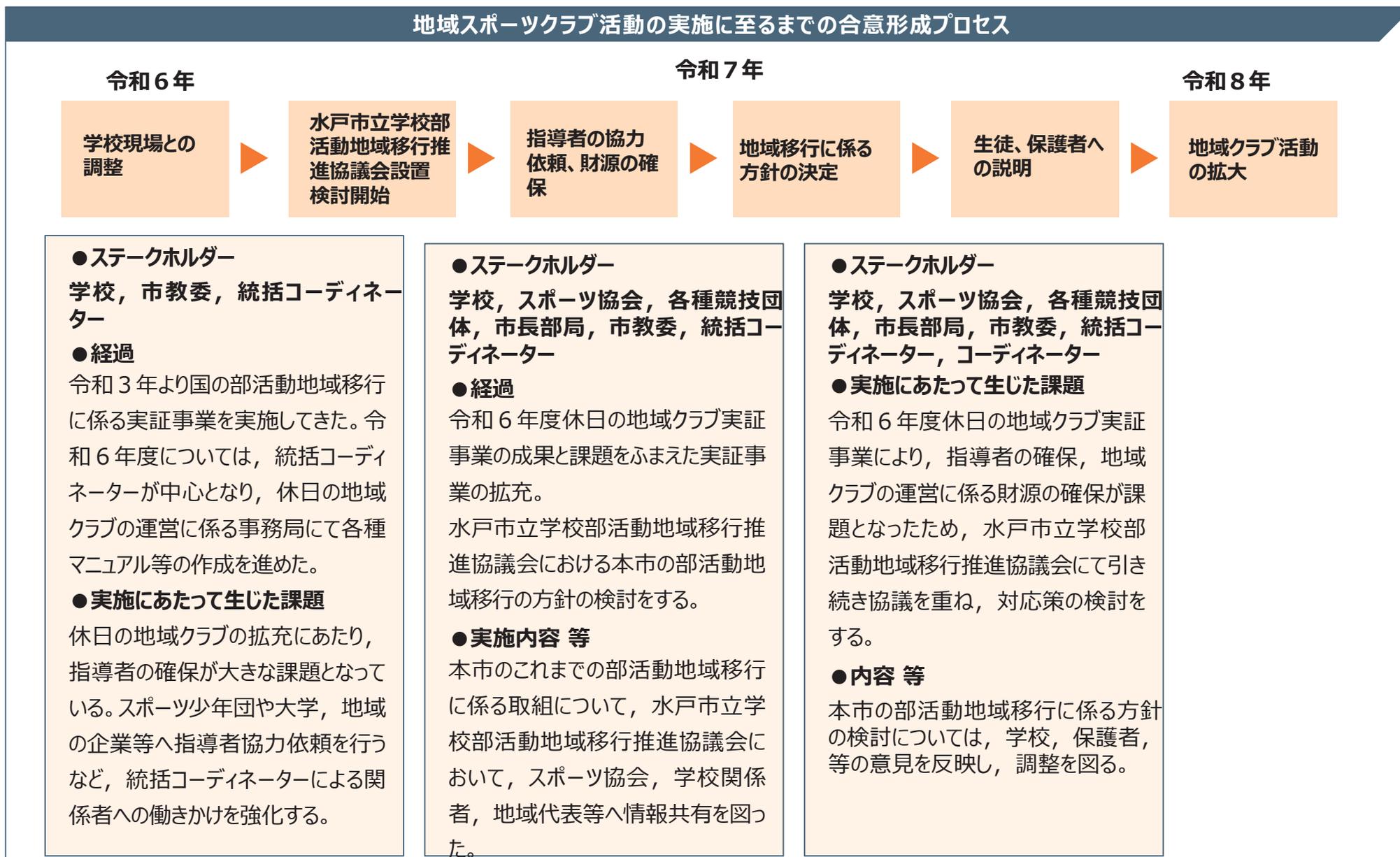


地域クラブ（レスリング）での打ち込み練習の様子



地域クラブ（レスリング）でのミーティングの様子

## 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 水戸市部活動改革スケジュール(案)

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	地域運動部活動実証事業(国)		地域運動部活動実証事業(市)	
				学校と地域の連携強化
水戸市	R5: 野球, ソフトボール, 男子ソフトテニス, 女子ソフトテニス, 剣道, バスケットボール, 男子卓球	R6: 部活動指導員37名 配置 運動部: 32名 文化部: 5名	R7: 部活動指導員50名 配置 運動部: 44名 文化部: 6名	R8: 部活動指導員配置 運動部: ○名 文化部: ○名 R8年度の実績を上回る数を配置
		R6: 休日の地域クラブ実証事業 市内2拠点(4部活動)	R7: 休日の地域クラブ実証事業 市内12拠点(19部活動)	部活動地域移行推進計画に基づいた活動の展開
		地域移行に係る市役所関係及び有識者との検討	地域移行に係る方針の整理 地域移行推進計画の策定	
	休日の部活動を地域指導員に移行	休日の地域クラブ活動の充実		休日部活動の地域連携の推進